

平成26年度 第1回図書館協議会会議 会議録

	平成26年5月30日(金) 16:00~17:00
	会 場 : 市民会館 第2会議室
出席者:(委員)	乙犬委員・七条委員・畠山委員・清水委員 近藤委員・宮崎委員
(事務局)	内藤教育次長・菅原館長・岩崎課長・森主査・谷口主査・ 黒氏主査 (記録:森)

※教育委員会附属機関合同委嘱状交付式(午後3時30分・中ホール)終了後に開催

1. 開 会

2. 挨拶

図書館長

会長、副会長選出まで議事進行を務めさせていただきます。図書館長菅原です。

平成26年度・27年度2カ年の図書館協議会委員として、皆様に先ほど教育長より委嘱状を交付させていただきました。今後2年間、恵庭市の図書館行政にいろいろご意見を賜りたく、よろしくお願ひ致します。では早速ですが議事に先立ち、自己紹介をお願いします。

(議事に先立ち、名簿順自己紹介を行う。)

3. 議 題

議題①会長・副会長の選出について

では議題1番目の会長・副会長の選出について、入らせていただきます。図書館条例施行規則第13条第2項の規定では、会長及び副会長は、「協議会委員の互選により選出する」となっておりますが、選出方法についてはいかがいたしましょうか？

(事務局案でという発声)

ただいま委員の中から、事務局案があれば提示してはという意見がありました。これでご異議ありませんか。では事務局から案として推薦させていただきます。ご賛同いただけますでしょうか。

(異議なしとの発声)

ご異議ないようですので、事務局提案どおり決定させていただきます。どうぞよろしくお願ひします。ここで会長・副会長から一言ご挨拶をいただきたいと思ひます。

(会長、副会長挨拶)

ありがとうございました。議題の2以降の議事進行につきましては、会長にお願ひします。

議題② 平成25年度実績報告について（配付資料に従い説明）

○主な図書館実績報告

・おはなし広場（本館・恵庭分館・島松分館）	99回開催、	931名参加
・BALLOONおはなし会	11回開催、	201名参加
・図書館まつり～ 子どもあそび体験&ブックフェスティバル in えにわ		1,709名参加
・ブックスタート（生後9・10ヵ月親子）	12回実施、	495部配付
・ブックスタートプラス（生後1歳6ヵ月親子）	12回実施、	503部配付
・のびのび教室（生後5・6ヵ月親子）		127組参加
・上映会（週2回 水・土）	92回開催、	836名参加
・子ども読書の日記念事業（4/19～5/10、展示・人形劇・映画会）		116名参加
・総合学習の支援	10件実施、	571名参加
・家読推進事業（5/18開催）		46名参加
・恵庭市小中学生調べる学習コンクール（9/5～10/4募集）		551名応募
・おはなし広場（夏休み・冬休みスペシャル）	2回開催、	203名参加
・本の修理体験講習会（12/6）		14名参加

○主な図書館利用状況（市立図書館・学校図書館）

・貸出状況（本館・恵庭分館・島松分館）	利用者数	124,666名、	貸出数	641,616名
・団体貸出状況（ 〃 ）	利用団体数	101団体、	貸出冊数	15,663冊
・登録者状況（ 〃 ）				40,937名
・AV利用状況（6箇所）				4,142件
・蔵書冊数の現況（本館・恵庭分館・島松分館）				295,845冊
・予約、リクエストサービス状況（本館・両分館・インターネット）	受付件数	39,058件		
・レファレンス（本館・恵庭分館・島松分館）	〃	27,912件		
・小学校学校図書館の現況	貸出冊数	285,706冊、	蔵書冊数	83,618冊
・中学校学校図書館の現況	〃	38,801冊、	〃	58,542冊

○質疑・意見交換（要旨）

委員 図書館の開館日は大きく変わりはあったのか。

事務局 年間301日であり平成24年度の302日と大差はありません。

委員 24時間開館はどうであったか。今後も続けるのか。

事務局 実際24時間開館した経験では、午前12時頃で入館者はほぼ途切れ、1時、2時は3～4名でした。今後も続けることについては、効果においてやや疑問があります。開館は実行委員会方式なので、そちらの意向もあり、なんとも言えないところです。

委員 ブックステーションを、24 時間オープンするというやり方もあるのではないかと。市民のニーズがあるのだから、それに答える方向で考えてもらいたい。

委員 「恵庭市小中学生調べる学習コンクール」の入選作品は、図書館本館では展示しているが、学校へは提供しているのか。

事務局 電子メディアにデータ化したものを学校にも送っています。時期が合えば作品を学校にも貸し出しています。

委員 入選者が固定化しているようである。ノウハウを子どもたちに指導する必要がある。

委員 電子メディアで学校へもらっているが、CD は子どもたちがなかなか見ない。

事務局 子どもたちへのレクチャーは、3 年前から職員が実施するようにしています。傷みの問題等もあり、現物の展示は難しい。コピーを展示しているので、カラーの作品等、そのよさがなかなか伝わらない嫌いがあります。子どもたちへの指導はもちろんですが、担当の先生との密な連携が必要だと思います。

議題③ 平成26年度事業計画について

○主な事業項目

(配布資料に従い説明)

○質疑・意見交換 (要旨)

委員 点訳・音訳のボランティアがいること自体知らなかった。何人ほどいるのか。

事務局 点訳・音訳奉仕団があります。22 名ほど在籍して活動しておられます。

委員 対面朗読とはどんな効果があるのか。

事務局 視覚障害者の方を対象にしたもので、本の朗読というより家電製品の取扱説明書など、実用的な文書を読んで差し上げるという活用がお役に立っているようです。

委員 電子本についてはどのように取り扱うか。ニーズはあるようだが。

事務局 札幌中央図書館が試験運用を行ったが、人気本はなかなか電子化されないなど、導入しても十分な利用が見込めるかどうか不透明なところがあります。札幌中央図書館が今年度から本格運用するのでその状況を見極めたい。

委員 高齢者サービスは、利用がありそうか。

事務局 現在のところ申し込みはないが、有料のサービスのことであり、PR に努めたい。

委員 学校図書館との連携について、さらに充実するとよいと考えているが。

事務局 ちょうど今日午前中に学校司書のミーティングがあった。リクエスト図書の配本システム等、学校間連携が円滑に機能しているの、恵庭市に赴任されてこられた先生も驚いているようでした。

委員 学校にはコンピュータ教室があり、インターネットに接続されていると聞いている。図書館のコンピューターシステムと連携して、調べ学習等できるようにならないのか。

事務局 学校図書館用コンピュータと教育用コンピュータは、容量やセキュリティの関係から切り分けており、相互に連動はしていない。

議題④読書活動推進計画（案）について

（配付資料に従い説明）

委員 10年サイクルの推進計画ということだが、このなかにもあげられている「現状と課題」の課題の部分が具体的にわからない。恵庭の読書活動において何が課題なのか言ってほしい。

事務局 恵庭の図書館の現状は、読書活動をまちづくりの成果として次の効果へと一つ一つ積み上げて「読書のまち」という評価をいただいたものと考えています。しかしながらまだまだ課題があり、すでに取り組んでいる活動も知られていないものもたくさんあると思います。そのために生涯各期でどのような読書環境を整えればよいか、持続可能な取り組みをどう構築していくかが今後の課題だと思っています。

委員 ブックカフェは九州の武雄市で実施していて、指定管理方式で図書館にカフェを設けている。軽食や喫茶をしながら本を読むという利用のスタイルは、ひとつの提案だと思う。これが恵庭で実現できるかはひとえに予算なので、簡単に実現できないのはわかっている。図書購入費なども気になっているし、開館後20年たって老朽化した施設の更新や、窓口スタッフの過重労働や専門性の確保など、図書館協議会の委員そして市民の立場で考えていかなければならない。

事務局 今年度図書館予算は、1億4千万ついておりまして、教育予算全体から見て決して少ない額ではないのですが、税率8パーセントの関係で、予算が増えても蔵書できる冊数が減っている等の事情はあります。

委員 恵庭北高校でも朝読書が始まる等、恵庭の読書の取り組みは着実に広がっていると思う。学校司書の制度は千歳市に波及してきているし、ブックスタートの子どもが中学2年生にまで育ってきて、息の長い取り組みが実を結びつつあるのではないかと。

事務局 恵庭の図書館を視察したいと、全国から視察団が頻繁に来ています。視察では、これからどこへ向かって、どうやってと質問されますが、行政がリードを取って動いているのでなく、行政は市民が動いていることをバックアップしているだけです。図書館行政は、即効的な効果を求めるものではないのでは、とお答えするのが常です。

委員 昔「ゆりかごから墓場まで」という言葉があったが、恵庭市ではブックスタートから高齢者宅配まで、生涯にわたる読書と暮しの活動を支える施策がそろったことになる。私たち協議会委員も楽しみながら考えるというスタイルで、今後進めていきたいと考えている。

4. 報告 図書館利用者アンケート調査について

(配付資料に従い説明)

5. 閉会

(午後5時50分 終了)